

東京国際芸術祭(TIF) コミュニケーション・プログラム
『高校生のための観劇プログラム』

どう観る？ どうやる？ 外国の演劇作品
～海外から来日する演劇を楽しんでみよう！～

以前に比べ、海外のカンパニーの演劇作品が日本で上演されることが多くなりました。今や東京は、世界で話題の作品を数多く見られるチャンスに恵まれた都市といえます。しかし、世界演劇の最先端に触れることができるせっかくのこのチャンスを、食わず嫌いで逃がしてしまっている人も多いようです。「日本語じゃないと話についていけない」「舞台設定に共感できない」「ストーリーや演出が難しそう」など海外の演劇作品を敬遠してしまっているこうした要因を、今回のワークショップでときほぐし、どうすれば楽しめるのかを、作品の見方の解説と実際に海外戯曲作品の一場面を創ってみることで体験し、ドイツ・ベルリンより初来日するフォルクスビューネの『終着駅アメリカ』を観劇してみましょう。

プログラムの内容と『終着駅アメリカ』

“どう見る？”

世界の高校生たちが観ている演劇を、日本のみなさんにもわかりやすく紹介します。

“どうやる？”

実際に台本をつかって、頭と体をフル回転のワークショップをします。

“楽しんでみよう！”

ドイツ現代演劇の最先端！
『終着駅アメリカ』の観劇
(@世田谷パブリックシアター)



講師: 倉迫康史 KURASAKO koji

Ort-d.d(オルト・ディー・ディー)プロジェクトリーダー・演出家。
1969年、宮崎県生れ。早稲田大学卒業後、演出活動を開始。2000年より現代舞台芸術ユニット Ort を始動。「ささやきの演劇」と呼ばれる様式で注目を集める。2003年より東京と宮崎の二拠点制への移行に合わせて Ort-d.d と改名。Shizuoka 春の芸術祭、利賀フェス

ティバルなど多くの国際演劇祭に招聘される気鋭の演出家。ク・ナウカ、IKACHI 国際舞台芸術祭プロデュース作品など外部演出も多い。2004年には、国の重要文化財である東京国立博物館表慶館にて『四谷怪談』を上演。近年では大学の演劇実習にて講師などもつとめる。東京国際芸術祭では『昏睡』の総合演出をおこなう。

■倉迫氏よりひとこと■

題材になる『終着駅アメリカ』は、アメリカの有名な戯曲『欲望という名の電車』をドイツの劇団が翻案・脚色した作品です。なぜ『欲望という名の電車』という戯曲を彼らを取り上げたのか、それを彼らがどう自分たちに合わせて作り変えたのか。戯曲の普遍的な魅力を発見し、そこに自分たちの住む社会の問題意識や現代性を取り込むという、海外のカンパニーで一般的に行われている「視点」と「手法」の入門編を行います。



Volksbuehne am Rosa-Luxemburg-Platz(フォルクスビューネ・アム・ローザルクセンブルク・プラッツ)

ベルリンの若者たちが熱狂的に通うフォルクスビューネの初来日公演。“戯曲の破壊者”と呼ばれる演出家カストルフはしばしば大議論を巻き起こすほどの前衛的で過激な舞台を世に送り出している鬼才。この『終着駅アメリカ』も、原作者 T.ウィリアムズの上演権所有者から許可がおりず、やむを得ず題名を変更したいわくつきの作品。過激なユーモアとコミカルな演技、メディアのしかけに生演奏にと、刺激溢れる舞台です。(日本語字幕つき)

【会場】世田谷パブリックシアター(三軒茶屋)
【公演日程】3月25日(金)19:00、26日(土)17:00、27日(日)17:00、28日(月)19:00
*希望の観劇日を選んで、申し込んでください。

■日 時: 2005年3月13日(日)10時～16時30分(昼休憩があります) ■会場: にしがも創造舎(都営三田線西巢鴨駅より徒歩1分)

■対 象: 高校生 ■定員: 30名(応募者多数の場合は抽選とさせていただきます(結果は2月中に応募者全員にお知らせします))

■参加費: 2,000円(税込) *『終着駅アメリカ』のチケット料金を含みます

■時間割: 10:00-11:00 どう観る? 海外作品の観劇レクチャー

(予定) 11:10-12:10 どうやる? ワークショップ説明

12:10-13:00 昼食休憩

13:00-16:30 やってみよう! ワークショップ体験

■観劇日: 3月25日(金)～28日(月)までの公演期間中いずれかの日を選んでください。

■申し込み方法: 裏面の申し込み用紙に記入(または、同内容を記載)し、FAX・郵送、またはメールにて申し込んでください。

■申し込み締切り: 2005年2月18日(金)必着

主催: NPO 法人アートネットワーク・ジャパン(ANJ) 協賛: アサヒビール株式会社/株式会社資生堂/トヨタ自動車株式会社/松下電器産業株式会社

お問合せ: 東京国際芸術祭(TIF) TEL 03-5961-5202 E-mail s-okubo@anj.or.jp (担当: 大久保)

東京国際芸術祭ホームページ

<http://tif.anj.or.jp>

「高校生のための観劇プログラム」 申し込み用紙

送付先:FAX 03-5961-5207 E-mail s-okubo@anj.or.jp

郵送: 東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 旧朝日中学校 東京国際芸術祭「高校生プログラム」宛

* 印がついているところは、必ず記入してください

* 名前

* 学校名

* 学年

* 観劇希望日

* 住所〒

* TEL/FAX

* メールアドレス(PCをお持ちの方)

* これまでの演劇経験(例: 演劇部にいる、ワークショップや授業、劇場で〇〇を観た、、、など)

プログラムに参加したいと思った理由

最近興味のあること

最近読んだ(活字の)本